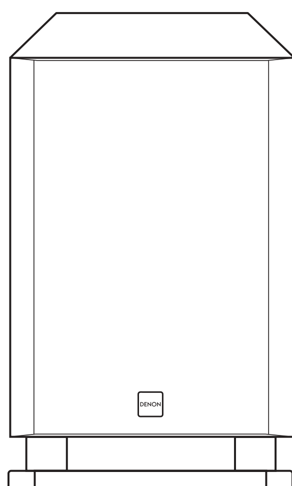
DENON

取扱説明書

DSW-MG55

SUPER WOOFER

スーパーウーハー



アンプ内蔵スーパーウーハー
（DSW-MG55）

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

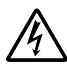


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



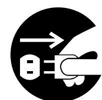
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警 告

■ 安全上お守りいただきたいこと

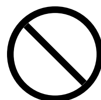
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない



バスレフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

安全上のご注意（つづき）

警告 つづき

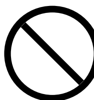
■ 安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に





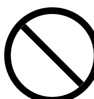
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（スピーカー、裏ぶた）を外したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で



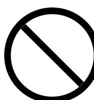
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



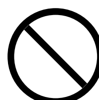
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない



スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



水場での
使用禁止

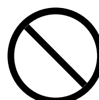
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



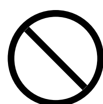
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意

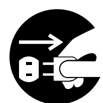
■ 安全上お守りいただきたいこと

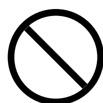
電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは





電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

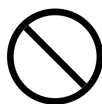
機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

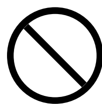
■ 置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する



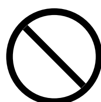
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■ 取り扱いについて

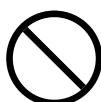
通風孔をふさがない



内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

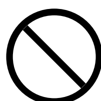
- 仰向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



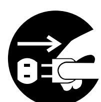
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

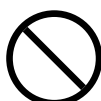


機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



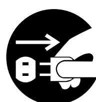
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

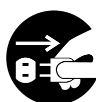
長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

使用上のご注意

- 長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
- 湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因になる場合があります。
- スピーカーシステムの最大許容入力とは、一般のプログラムソースにおいて短時間なら加えることのできる入力ですのでこの値以上の入力を加えないようにしてください。
- ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、アンプの取扱説明書をお読みいただき確認してください。
- アンプのトーンコントロールなどを最大にして、大出力で使用すると出力波形に歪現象などが現れることがありますのでこのような使用は避けてください。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。
- スピーカーシステムを移動させる場合、サランネットに強く触れますとスピーカーを破損させることがありますので、ご注意ください。

音のエチケット



◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎ 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間のカラオケと音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎ 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎ お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

取り扱い上のご注意（つづき）

設置の際のご注意

■ 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。

■ 本機は、テレビとの近接使用が可能な防磁型スピーカーユニットですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、少し離して、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、本機を更に離してご使用ください。

■ 近くにマグネット（磁石）など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますのでご注意ください。

【例】（a） ラック、置き台などの扉に装着されたマグネットがあるとき。

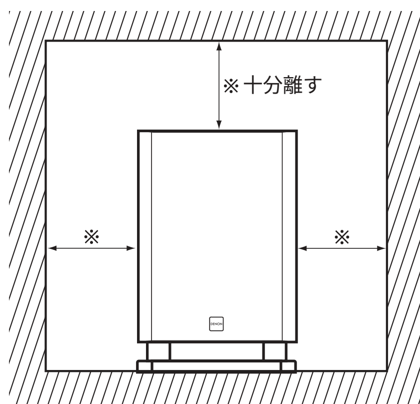
（b） マグネットを用いた健康器具などが近くに置かれているとき。

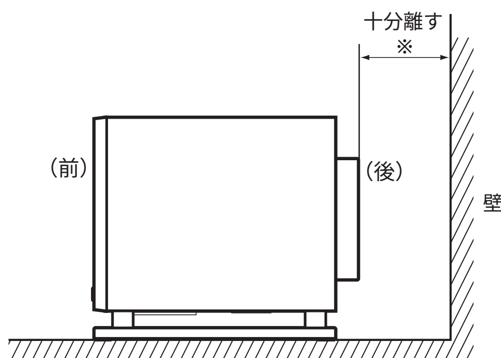
（c） その他、マグネットを使用した玩具などが近くに置かれているとき。

■ 転倒による事故を防止するため、しっかりとした水平な床の上に設置してください。

■ 本機の上に、レコードプレーヤー、CDプレーヤーなどのAV機器を設置しないでください。

■ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（下図参照）





その他のご注意

■ スピーカー端子には、ミューティング回路が組み込まれています。このため、電源投入後数秒間は出力信号が大幅に減衰されます。この動作時に音量を調節しますと、ミューティング終了後非常に大きな出力となりますので、音量調節は必ずミューティング終了後におこなってください。

■ 説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

■ 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

警　告

•接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁などに固定してください。



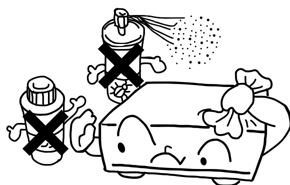
取り扱い上のご注意（つづき）

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

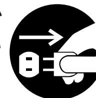


使わないときは

■ ふだん使わないとき

◎電源スイッチで電源を切ってください。

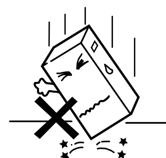
◎長時間の外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ 移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。

◎必ず電源プラグをコンセントから抜いて、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。



3 付属品について

★ 梱包箱の中には下記の付属品が入っています。ご使用の前にご確認ください。

接続コード A（長さ：約3m） ……………………1本 ※システムステレオ（D-MG55DV）との接続に使用します。 （コード両端プラグ緑色および灰色および青色）		**接続コード B（長さ：約3m） ……………………1本** ※システムステレオ（D-MG55DV）との接続に使用します。（コード両端プラグ紫色）
取扱説明書（本書）……………1冊	**保証書** （梱包箱に貼り付けられています。）	**製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 …1枚**

4 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

5 接続のしかた

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 別売りのスピーカーシステムパック（SYS-MG55）と接続する場合、スピーカーシステムパック（SYS-MG55）に付属しています接続コードを使用しますが、接続コードは色別テープで色分けがされていますので、本機のスピーカー端子の色ラベルと同色になるように接続してください。
- 本機背面のスピーカー接続端子は、センター用スピーカーおよびサラウンド用スピーカーの接続専用に設計されています。サラウンド用スピーカーとセンター用スピーカーは、インピーダンスが8Ωであればどのような製品でも接続可能です。音のバランス、接続のしやすさからDENON スピーカーシステムパック（SYS-MG55）をお薦めします。別売りのスピーカーシステムパック（SYS-MG55）は、サラウンド用スピーカー（SC-AMG55)×2台とセンター用スピーカー（SC-CMG55）×1台の合計3台で構成されています。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねたり、電源トランスの近くに接続コードを設置しますと、ハムや雑音の原因となることがあります。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

本機には高速プロテクター回路が内蔵されています。これはパワーアンプの出力が誤って短絡された際に大電流が流れたり、非常に大きな出力があった場合に、スピーカーを保護するためのものです。
保護回路が動作するとスタンバイ状態になり、電源表示インジケーターが点滅します。このような場合は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜き、接続コードや入力コードの配線に異常がないかを確認してください。本機の温度が極端に上がっている場合は、冷えるのを待って周囲の通風状態を良くしてからもう一度電源を入れ直してください。
配線や本機の周囲の通風に問題がないにも関わらず保護回路が動作してしまう場合は、故障していることも考えられますので、本機の電源プラグをコンセントから抜いた上で弊社のお客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

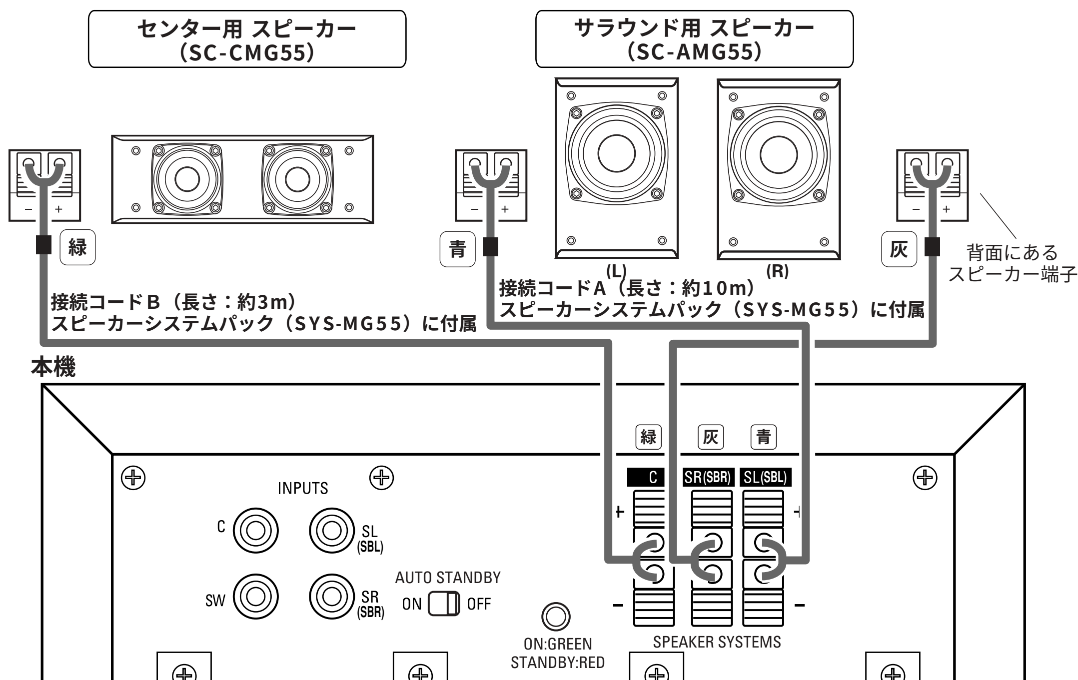
接続のしかた（つづき）

（1）別売りのスピーカーシステムパック（SYS-MG55）との接続のしかた

★ 接続の際、別売りのスピーカーシステムパック（SYS-MG55）に付属しています接続コード A、Bを使用しますが、接続コードは色別テープで色分けがされていますので、本機およびセンター用スピーカー/サラウンド用スピーカーのラベル印刷色が同色になるように接続してください。

※ **スピーカーシステムパック（SYS-MG55）に付属の接続コードの銅色の方をプラス（＋）側に接続してください。**

★ 接続する場合は、必ずアンプ内蔵スーパーウーハー（DSW-MG55）の電源を切ってからおこなってください。

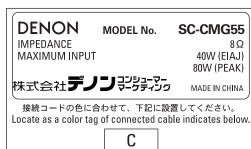


スピーカー設置時のご注意

テレビまたはモニター受像機に近付けるとスピーカーの磁気により画面に色ズレが生じることがあります。この場合は影響のない位置に離してください。

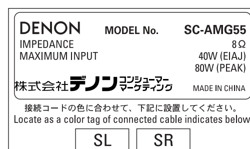
■ センター用スピーカー（SC-CMG55）およびサラウンド用スピーカー（SC-AMG55）のラベル印刷色

センター用スピーカー
（SC-CMG55）



サラウンド用スピーカー （左）
（SC-AMG55）

サラウンド用スピーカー （右）
（SC-AMG55）



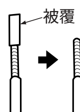
【ラベル印刷色】

マーク	C	SL	SR
色	緑	青	灰

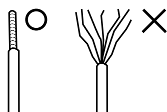
（2）スピーカーの接続

■スピーカー端子への接続方法

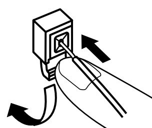
① 接続コード先端の被覆をはずす。



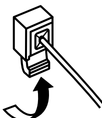
② 接続コードの先端の芯線がバラけないように手でしっかりよじる。



③ レバーを押し下げて、コードの芯線を穴の中に差し込みます。



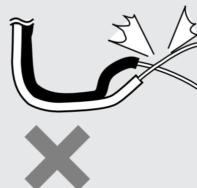
④ レバーを離します。



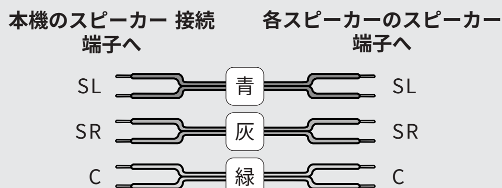
⑤ 接続コードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

- プラス（＋）とマイナス（－）を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。
- 接続コードの芯線が銅色の方をプラス（＋）側に接続してください。
- 回路の故障を防ぐため、接続コードの芯線のプラスとマイナスまたはL/Rを絶対にショートさせないでください。



- 別売りのスピーカーシステムパック（SYS-MG55）との接続は次のように接続してください。



本機は、システムステレオ（D-MG55DV）のサラウンドチャンネル用アンプとしてご使用できる他に、ホームシアターシステム（DHT-M330等）のサラウンドバックチャンネル用アンプとしてもご使用になれます。くわしくはホームシアターシステムの取扱説明書もご覧ください。

接続のしかた（つづき）

(3) デノン製 システムステレオ（D-MG55DV）とモニターTVとフロント用スピーカーとの接続のしかた

★ 接続の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
★ 付属の接続コードはプラグが色分けがされていますので、各々同色になるように接続してください。

システムステレオ(D-MG55DV)

フロント用スピーカー

フロント用スピーカー

(L)

(R)

本機

付属の接続コードB

付属の接続コードA

ビデオコード
(D-MG55DVに付属)

テレビ

ビデオ入力
映像

電源コンセント
AC100V 50/60Hz

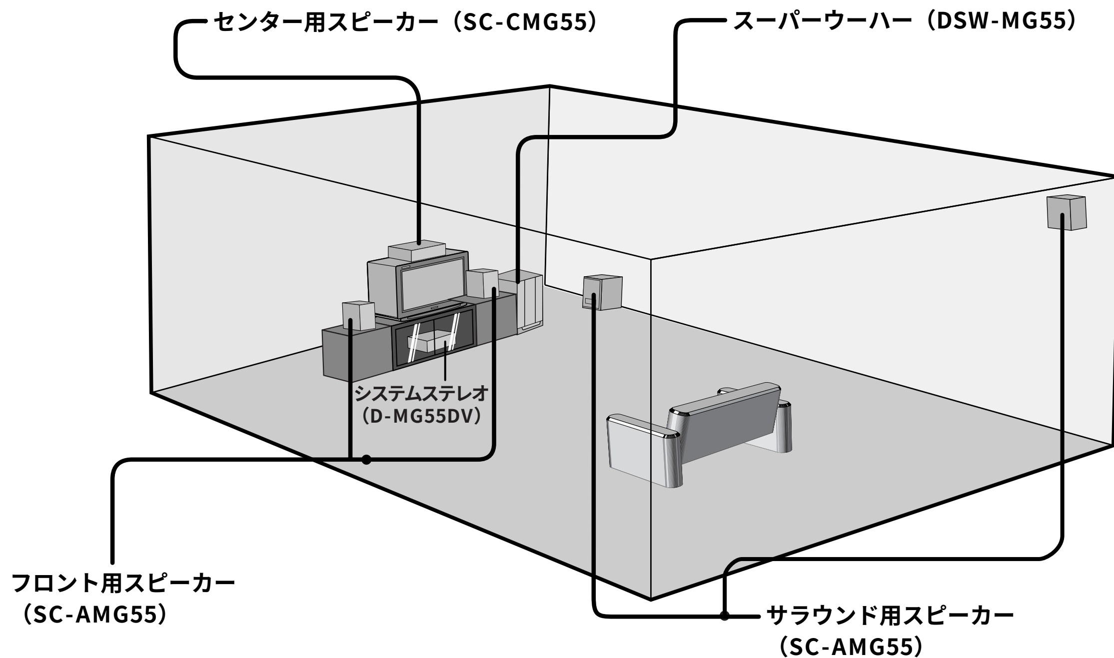
ご注意

本機には、映像信号切り替え機能がありません。テレビの切り替えをご使用ください。
また、MDレコーダーやビデオデッキなどの録音機器への信号を出力する端子はありません。

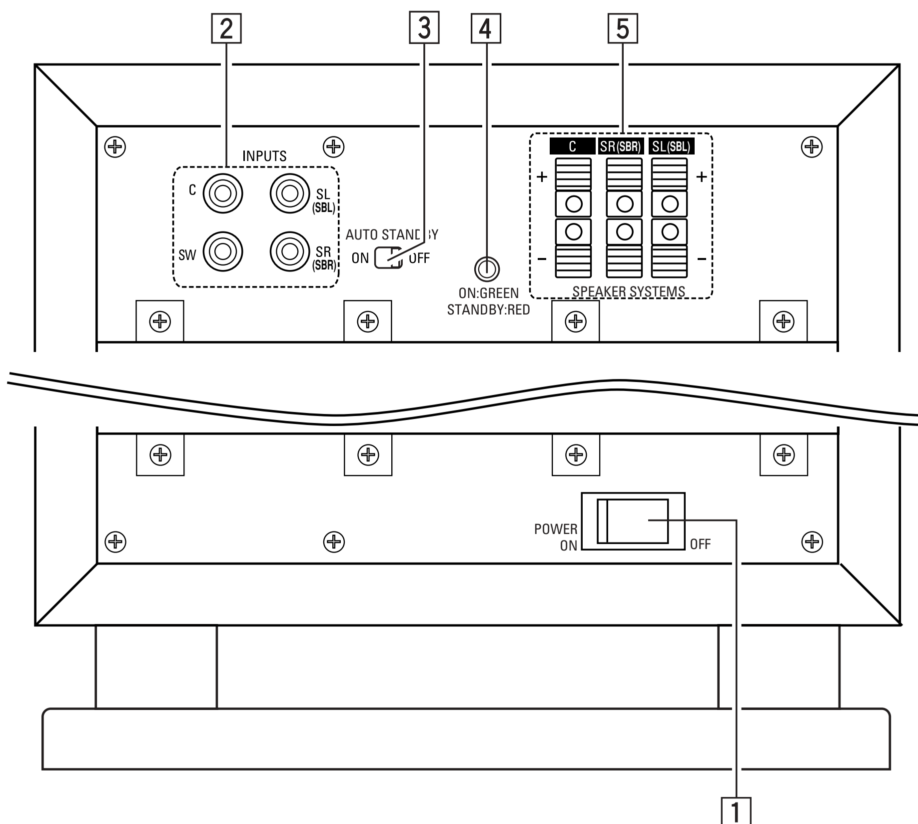
接続のしかた（つづき）

（4）設置のしかた

★スピーカーシステムのレイアウト（基本的なシステムレイアウト）
- スピーカーシステム（6台）とテレビを組み合わせた基本的なシステムレイアウトの例です。



6 各部の名前とはたらき



1 電源スイッチ（POWER）

- 左側を押すと電源が入り、右側を押すと電源が切れます。
- セットが動作するまで数秒かかりますが、これは電源スイッチON/OFF時の雑音を防止する、ミューティング回路が内蔵されているためです。このとき4動作表示LEDが赤点滅します。

2 入力端子（INPUTS）

- 付属の接続コードでシステムステレオなどのライン出力端子を接続します。

3 オートスタンバイ切り替えスイッチ（AUTO STANDBY）

ON :オートスタンバイ機能が働きます。通常こちらの設定が便利です。

OFF :オートスタンバイ機能は働きません。ご使用になるアンプや周囲の環境によっては、オートスタンバイ機能がうまく動作しない場合はこちらの設定にしてください。

オートスタンバイ機能

- 入力信号がない状態で5～11分間が経過するとアンプ部が自動的にスタンバイ状態になって節電します。信号が入るとすぐに電源がONになります。

ご注意

- 通常は、『ON』でのご使用をお勧めします。
本機へ入力する信号が小さく（小音量での音楽再生や弱音部の続く映画シーンなど）オートスタンバイから復帰しない、またはスタンバイに移行してしまう場合は『OFF』に切り替えてください。なお『OFF』に切り替えると常に電源が入ったままとなりますので本機をご使用にならない時は再度『ON』に切り替えるか、または1電源スイッチで電源をお切りください。

4 動作表示LED

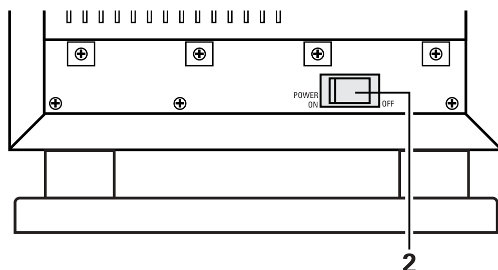
- 2色のLEDで本機の動作状態を次のように示します。
  - ・電源『ON』……………………………緑点灯
  - ・オートスタンバイ（スタンバイ状態）…赤点灯
  - ・電源『OFF』 ……………………………消灯
  - ・ミューティング時および
保護回路動作時 …………………………赤点滅

5 スピーカー接続端子

- 別売りのセンター用スピーカー、およびサラウンド用スピーカー（左/右）を接続します。

7 操作のしかた

操作する前に



1	**10〜14ページの『接続のしかた』を参照して、接続に間違いがないことを確認します。**	
2	**電源を入れます。** ● 本機の電源コードをアンプのスイッチ連動コンセントに接続したときは、ONのままにしておくとアンプと連動して、ON/OFFできます。 ● アンプと連動できない場合は、アンプの電源を入れてから本機をONにしてください。電源を切るときは、本機の電源をOFFにしてからアンプをOFFにしてください。	POWER ON OFF

ご注意

● 本機には音量調節つまみがありません。
本機に接続した機器の音量調節つまみで音量を調節することになりますので、接続した機器の取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。

8 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	処　　置	関連ページ
電源が入らない。	●電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	13
LEDは点灯するが音が出ない。	●各接続コードの接続が不完全であると思われますので、しっかりと接続してください。 ●本機に接続した機器の主音量調節つまみを適当な位置まで回してください。 ●本機に接続した機器のミューティングを解除してください。	10〜14 ー ー
センター用またはサラウンド用スピーカーから音が出ない。	●本機に接続した機器のサラウンドモードがSTEREOになっていると思われますので、STEREO以外のサラウンドモードにしてください。	ー
音が歪む。	●本機に接続した機器の主音量調節つまみを左に回し、音量を下げてください。 ●本機の音が歪む場合は、本機に接続した機器の低音調節つまみ、または主音量調節つまみを下げてください。	ー ー
本機が発振する （大きな音が連続的に出る）	●本機に接続した機器の主音量調節つまみで音量を下げてください。	ー

9 主な仕様

■アンプ部

実用最大出力	センター：	30W（負荷8Ω、EIAJ）
	サラウンド：	30W＋30W（負荷8Ω、EIAJ）
	スーパーウーハー：	60W（負荷4Ω、EIAJ）
入力感度	センター：	580mV
	サラウンド：	370mV
	スーパーウーハー：	400mV
S/N比	83dB	
電源	AC100V　50/60Hz	
消費電力	電源入り（ON）時：	72W（電気用品安全法による）
	待機（スタンバイ）時：	1W以下
最大外形寸法	210（幅）×322（高さ）×385（奥行き）mm（フット・つまみ・端子を含む）	
質量	10.3kg	

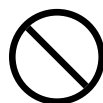
■スピーカー部

形式	1ウェイ、1スピーカー、バスレフ型、防磁設計
再生周波数帯域	30Hz〜200Hz
最大入力	80W
スピーカーユニット	ウーハー(16cmコーン形x1)

※ EIAJ：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※『防磁設計』とは、（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

※ 本機は国内仕様です。
必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC 100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



MEMO

株式会社デノンコンシューマー マーケティング
本　社　〒104-0033　東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー　14F
お客様相談センター　TEL：（03）6731-5555
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）
故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のためにご記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：　年　月　日	

Printed in China　00D 511 4371 002